

議員全員協議会次第

日 時：令和4年2月28日（月）

午前9時

場 所：取手市議会議場

1 開 会

2 協議事項

（1）取手市農業委員会委員の選任について

3 その他

4 閉 会

令和3年度 特色ある新しい学校教育の推進について

「取手市立山王小学校における小規模特認校教育プログラム活動報告」

1. 小規模特認校教育プログラムについて

取手市立山王小学校は、令和3年4月から、小規模校ならではの特色ある教育を展開し、就学を希望する方に一定の条件のもと、市内全域からの通学を認める「小規模特認校」へ移行しました。今年度は、次の5つの特色ある教育活動の柱を軸に、小規模特認校教育プログラムを展開して、子供たち一人一人の個性、創造力、表現力、発想力と可能性を発見し、伸ばすことができるように取り組んできました。

山王小学校の特色ある教育5本の柱

①徹底した「個に応じた指導」

- ・児童全員参加、全員発表の日常化
- ・全児童の考えや気持ちを取り入れた授業の実施 など

②充実した「異学年集団・縦割り班活動」

- ・全高学年児童がリーダーとして活躍する機会の設定
- ・縦割り班活動をもとに、異学年集団での遊びを日常化など

③生きた英語で学ぶ、英語スペシャリスト教員による「国際教育」

- ・オールイングリッシュでの英語授業
- ・校内放送「ルー先生のイングリッシュチャレンジ」の実施
- ・英語便り「イングリッシュ・タイムズ」の発行 など

④アーティストと育む「創造する力・」「表現する力」

- ・とりでアートプロジェクトとの連携による授業
- ・5月～7月 「となりのスタジオ マテリアル・ガーデン」
- ・9月～1月 「大地からはじまること」など

⑤地域の方々から学ぶ「体験活動」

- ・トマト、さつまいも栽培・米作り・山王太鼓（今年度未実施）



①徹底した個に応じた指導



②異学年集団・縦割り班活動



⑤地域の方々から学ぶ体験活動

2. 特色ある2つの教育プログラム

(1) 生きた英語で学ぶ、英語スペシャリスト教員による「英語・国際教育」

『英語スペシャリスト教員による オール・イングリッシュの授業』

ルー先生は、英語の日常化に取り組み、学校生活の中でも英語に親しむ機会を設けました。子供たちは異文化への理解を深めることができました。

【子どもの声】

- ・何となく通じているので会話が楽しい。
- ・英語でお話ができるようになった。

【保護者の声】

- ・授業の様子を家で楽しそうに話す。
- ・授業以外でも、英語で接してくれてとてもうれしい。英語を身近に感じているようだ。



2-1. アーティストと育む「創造する力」・「表現する力」

(1) 小規模特認校教育連携プロジェクト「となりのスタジオ」

『マテリアル・ガーデン』

校舎の一角をスタジオにして、児童とアーティストがともに創造的な場をつくるプログラム「となりのスタジオ」。今年度は、イギリス出身の芸術家・クレムと一緒に、「自然」と「素材」をテーマに活動しました。子供たちは授業のほか休み時間にも気軽にスタジオを訪れ、花やお米、ミミズなどを育て、手を加え、「つくること」に取り入れる実験をしました。夏休み前には、それらの素材を使った作品を制作しました。



(2) 小規模特認校教育連携プロジェクト「大地からはじまること」(全5回)

『大地からはじまること』

山王地域の方々や身の回りにある身近な素材を活かしたアートプログラム。今年度は、地域の土を採取し、土を練り、作陶する、山王の土を使った土器づくりに芸術家と取り組みました。野焼きは校庭の伐採木などを使い、児童と教員がチームワークで薪割りをして実施。地域の方と育てた芋と一緒に焼くなど、活動の幅が広がりました。



3. 小規模特認校としてのこれからの展開

取手市は、これまでに市民、取手アートプロジェクト、市在住アーティスト、東京藝術大学などが協働して、新たな価値の創出に向けた取組を行ってきました。今後は、取手市ならではの特色ある学校教育プログラムを学校、地域、教育委員会、連携団体が一体となり展開していきます。また、地域の拠点としての学校を目指していきます。

